

厳冬期の樹木の生き様 （武田尾付近の樹木・冬芽観察）

自然と文化科・観察委員会

＊新年早々の企画ですが、今年の冬もラニーニャの影響で寒冷的な気象となるとの予報です。でも樹木達は来るべき春に備えたくましく生活しています。厳冬期、樹木達はどんな生き様を見せてくれるのか訪ねてみましょう。観察の中心は「冬芽」です。



1. 期日 2023. 1. 6（金）

前日午後5時以降の天気予報で、兵庫県南部の降水確率50%以上の場合は中止。

2. 集合場所及び時間

JR 武田尾駅・改札口前

（コロナ対策、観察路の混雑を避ける為、班ごと時差集合・出発とさせていただきます。）

1班	9:50	参考 JR 武田尾駅 着時間	9:46
2班	10:00	（最終接続便）	9:58
3班	10:10		10:06
4班	10:20		10:14

3. 服装及び所持品

寒冷的な時期・場所ですので防寒対策を万全に、雨具、観察用具

4. 観察ルート（次頁図参照）

武田尾駅～武庫川上流～トンネル～武田尾橋を渡る～右岸を下流へ～温泉橋を渡る
昼食場所（WCあり）～ 再び右岸へ渡り下流へ ～ コクサギ群生地で折返し
～ 温泉橋を渡る ～ 左岸の観察 ～ JR 武田尾（解散15:00の予定）

＊雨天・降雪時には観察ルートを変えることがあります。

5. 交通情報 武田尾駅には快速は停車しません。

（接続の私鉄・地下鉄に関しては各自お調べ下さい。）

JR 宝塚から新三田行き普通は9:20, 38.50, 57, 10:06発

6. その他.

JR 武田尾にも WC はありますが、1ヶ所。なるべく乗車駅でご利用を。

お持ちでしたら、図鑑は「冬芽：ハンドブック」文一総合出版を持参下さい。

* 参考 J R武田尾付近の地層・地形

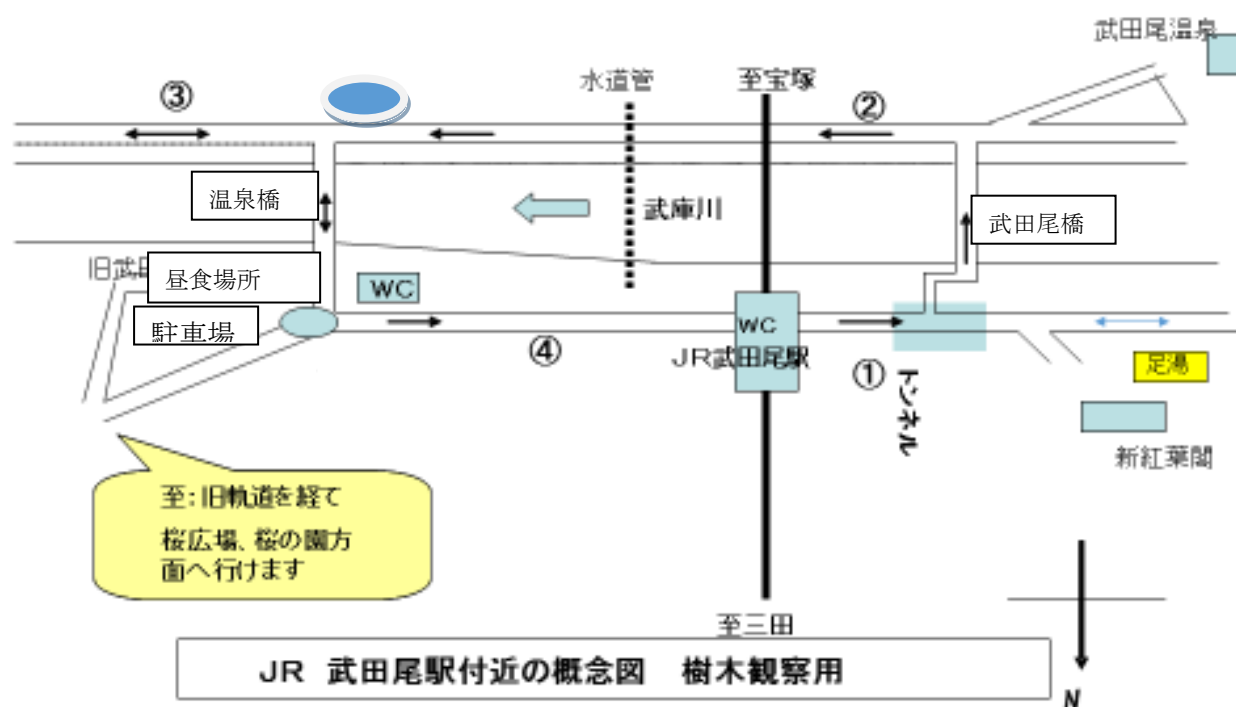
・武田尾付近の山地は「有馬層群」と言われる地層に属します。有馬層群は中生代白亜紀（7,200 万年～7,500 万年前）にはげしい火山の活動によって地表にふきだしたマグマや火山灰が固まって出来た地層であり、溶岩が固まった**流紋岩**や火山灰が火砕流等で変質した**溶結凝灰岩**から出来ています。

隣接する六甲山地はマグマが地下で固まった**花こう岩（御影石）**の地層となっています。岩盤を形成する鉱物（長石、石英、雲母等）はほぼ同じですが、前者は非常に堅い岩盤を形成しており、後者は劣化し易い岩盤となっていますがこれは鉱物の結晶構造・大きさの差にあるといえます。（c f. 六甲山 マサ土）

・なお、武田尾付近の地形は有馬層群の地層の間を武庫川が流れ、侵食による深い溪谷を形成しています。兩岸は硬い岩石でできており、処々に露岩がみられます。武庫川はこの山地が源流域ではなく、三田盆地の田園部から流下しており、広い川幅を持ち、河岸堆積層を形成しています。武田尾付近の植生は有馬層群特有のもの他、溪流植物、河岸堆積層の植生も見られ多様性に富んでいます。

* 武田尾付近では武庫川は西から東に流れ、左岸（駅側）の斜面は南斜面、対岸の右岸は北斜面となります。この為、右岸では日照時間が短くなり、寒冷で標高が低い（120 m前後）にも関わらず、通常は六甲山上等・中間温帯などで見られる植生・・・イタヤカエデ、コメウツギ等・・・が見られます。

* なお、付近の冬季の平均気温は大阪・神戸に比べると4～5℃低目となっています。



以上